



**Japan Football Association
Presidential Headquarters**

ポット苗方式芝生化モデル事業
2010年度 ポット苗無償提供 募集要項



ポット苗方式芝生化モデル事業
2010年度 ポット苗無償提供 募集要項

1. 概要 ポット苗 700,000 株を無償提供（グラウンド 22 面分／155,000 m²相当）
2. 対象 下記の団体がグラウンドや校庭等の敷地 2000 m²以上（但し園庭は 200 m²以上）を芝生化する場合
 - 1) 都道府県サッカー協会
 - 2) 法人格を有するサッカークラブ／スポーツクラブ
 - 3) 地方自治体
 - 4) 幼稚園・保育園
 - 5) 学校（公立・私立を問わず）
3. 申請者 申請者は、上記 1) ～ 5) の団体の長とする。
4. 応募期間 2009 年 12 月 21 日（月）～2010 年 1 月 29 日（金）
5. 応募方法 別紙「申請書」に必要事項を記入の上、下記まで郵送して下さい。
 - ※ 提出にあたっては都道府県サッカー協会の承認が必要です。
 - ※ 申請書の「都道府県サッカー協会 承認欄」に必要事項を記入してもらって下さい。
 - ※ 都道府県サッカー協会の事前の現地視察は必ずしも必要ではありません。
 - ※ 都道府県サッカー協会が申請者の場合は、承認欄の記入は不要です。
6. 応募先 (財)日本サッカー協会 ポット苗方式芝生化モデル事業係
〒113-8311 東京都文京区サッカー通り（本郷 3-10-15）TEL：03-3830-2004（代表）
7. 応募条件
 - 1) 管理計画があること（夏期は週に一度の芝刈りなど）
 - 2) 500 m²以上を芝生化する場合、地元でスプリンクラー整備、芝刈り機を用意
 - 3) ポット苗の送料（※注）、苗植えの人件費は地元負担
 - 4) 苗植えにあたっては、JFA がインストラクターを派遣
 - 5) 6 月初旬から 7 月初旬までに苗植えができること
 - 6) 申請者が芝生化する敷地の所有者と違う場合は所有者の許可があること
 - 7) 苗植え後の成長・管理についてのレポートの提出ができること。
 - 8) 小学校の場合は児童 1 人に対して 15 m²、幼稚園・保育園の場合は児童 1 人に対して 10 m²の芝生化面積を有すること。

※注 芝生の送料は、提供する芝生の量や場所にもよりますが、2 万円～15 万円程度になる予定です。
8. 審査 応募案件を審査した上で、2010 年 3 月上旬にポット苗の提供の決定をします。
応募者多数の場合は、応募書類等を審査の上、選定いたします。
必要な場合は現地調査・ヒアリング等を実施します。

● 事業概要 ●

2009年12月

募集開始

700,000 株の芝生の苗を無償提供！！

JFA がプレジデント・ミッションの一環として、グラウンド 22 面分 (155,000 m² 相当) の芝生の苗 70 万株を無償で提供する芝生化推進事業。「ポット苗方式」による芝生化とは、ポットの中で 45 日間ほど育てた芝生 (ティフトン 419) を田植えの要領で 50cm 間隔に植えるもので、2 ヶ月ほどでその間隔が埋まり、一面の緑の芝生になります。ティフトン芝は成長が早いので、日常の管理では芝刈りが欠かせないが、大掛かりな工事をすることなくグラウンドを芝生化できます。

2010年1月

応募締切

2月

提供決定

3月

5月初旬に苗づくり (JFA)

4月



約45日で苗の完成
各地に出荷



5月

苗づくり開始

苗の育成 (約45日)

6月

苗の発送開始

各地で苗植え
JFA がインストラクターを派遣



7月

植付け

養生

(植付け後45日程度)
※立入禁止の必要はありません



8月

芝刈り開始

(植付け後30日後)

田植えのように
50cm間隔で植える



植付け後約45日で
一面みどりの芝に！

9月

10月

オーバーシード

本事業は、NPO グリーンスポーツ鳥取 (<http://www.greensportstottori.org/>) の技術協力のもと実施しています。

● ポット苗方式による芝生化の特徴 ●

スタジアムのような綺麗な芝生とは違いポット苗方式は費用をかけずに最低限の芝生を創る手法で、芝生の苗を植えてから2ヶ月後には一面みどりの芝生になります。苗植えには人手がかかりますが、スタジアムの芝生を整備するのに比べ、1㎡あたり資材代100円程度と各段に安く芝生化する手法です。維持管理も必要最低限とし、雑草は取り除かず、ただ週に1回の芝刈り（刈放し／刈った草を集めない）と散水をし、年に数回の施肥と秋に冬芝の種をオーバーシードするだけです（勿論、除草剤や農薬は使いません）。けれども、クレーのグラウンドと比べるとその管理には手間暇がかかります。一方、こうして手間暇をかけてこそ大事な地域の資産となります。プロセスの中で、時には失敗もあります。けれども、それにめげずに何度でもチャレンジして下さい。また、2009年度で実施した中には、ほんの一部芝生が十分に生育しなかったところもあります。その原因は、苗の植付けの時期が遅れたこと、日照が悪かったこと、苗を植えた後に十分な養生期間を取らなかったことなどが考えられます。重要なのは現地で芝生化を担う担当者の熱意と日常の管理です。芝生は生き物ですので、苗がしっかりと根付いて十分に広がるまでは、しっかりと日々の芝生の状況を見ながらできる対処をして下さい。なお、ポット苗方式では、ティフトン419（バニユーダグラスの一種）という暖地型の芝生を用いて芝生化する手法です。2009年度、青森県の弘前市で実験し、十分に生育しましたが、東北地方や北海道などで特に夏の時期でも気温が低い寒冷地では上手く生育しない可能性がありますのでご注意下さい。

◆穴道小学校（島根県松江市）芝生化面積約7400㎡（2009年度芝生化）



2009年6月21日
植付けの様様



芝生の模様
撮影日 10月24日

JFA Green Project

● 「ポット苗方式」によるポット苗の移植方法 ●

植付け当日の朝、必ず苗に灌水して下さい。写真のように 50cm 間隔で深さ 6~7cm の穴をあけて下さい。子どもなどが一緒に作業をする際は、事前準備の段階で、穴をあける目安としてラインを入れておくくと便利です。また、固いグラウンドに穴をあける作業はとても大変ですので、こちらもある程度は事前準備の段階であけておくくと効率的です。苗の植え付けは、写真のように掘った穴に一つの苗を移植します。苗箱から一株ずつ苗を取り出し、土をつけたまま穴に入れて、上から足で抑え、周辺の土を株もとによせてもう一度足で抑えつけます。植付け後、たっぷり灌水し、30g/m²を目安に施肥をします（植えた所を中心にグラウンド全面に撒いて構いません）。なお、芝生化しようとする場所で、極端に水はけが悪い部分がある場合などは、できればグラウンド全体に 1~1.5%の表面勾配をつけることをお勧めします。

資料提供：NPO 法人 グリーンスポーツ鳥取



①50cm間隔にラインを引き、苗箱(25株)を配置する



②移植鍬、小鍬(地面が硬ければ唐鍬)で深さ5cm程度の穴を掘る



③ポット苗を1株ずつ穴に置いて、足でしっかりと踏みつける



④踏みつけた後、周囲の土をポット苗の周りに戻す



⑤移植当日はたっぷり散水する

(ポット苗は地面より少し低いほうがよい)

● 「ポット苗方式」によるポット苗移植後の管理 ●
(校庭・園庭、空き地の芝生の場合)

管理のポイント

1. 灌水
 - ①移植当日は水が浮き上がるほどにたっぷりと散水する。
 - ②移植後1か月間はできれば毎日、少なくとも週2回程度灌水する。
 - ③梅雨明けから9月中旬までの雨が少ない時期は灌水を多くする。
 - ④10月下旬から4月までは原則として灌水は不要。

※夏の灌水は基本的に毎日の作業となります。人力では限界がありますので、スプリンクラー等の設備を用意して下さい。
2. 施肥
 - ①ランナーの発生を促進する目的で、移植後2か月間は月に2回の施肥を行う。

※一回の施肥に必要な肥料の量は、窒素・リン酸・カリウムがそれぞれ12%の等配分で配合された化成肥料を、1,000㎡あたり35kgを目安とします。(ティフトンの初期生育には多めの肥料を必要とします。)

 - ②移植後3か月目からは、月1回の施肥を行う。
 - ③成長が停止する冬季(12月～3月)は原則として施肥しない。
3. 芝刈
 - ①移植後1か月間は芝刈りをしない。
 - ②移植後1か月から2か月までは、高さ5cm、10日～14日間隔で芝刈りをする。
 - ③移植後3か月目以降は、高さ4cm、4日～7日間隔で芝刈りをする。刈った芝は集めて捨てる必要なし。
 - ④10月下旬から4月までは芝の成長に合わせて芝刈り回数を減らす。

※芝刈作業は週に1度は行います。下記を参考に適当な芝刈機をご用意ください。

芝生化面積	芝刈り機の仕様	金額の目安
1,500㎡以下	50cm 自走式	20万円
4,000㎡以下	100cm 乗用型	60万円
8,000㎡以下	120cm 乗用型	100万円
8,000㎡以上	120cm 乗用型	200万円

冬芝のオーバーシーディング

冬芝のオーバーシーディングとは、冬の時期に枯れる夏芝(今回の場合はティフトン)の上から、冬芝(ペレニアル・ライグラスを推奨)の種を撒くことにより、冬の時期に、緑のターフを形成させる手法です。こうすることで、一年中緑の芝生を実現することができるのと同時に、冬の時期に枯れる夏芝の保護にもなります。夏芝は、冬の時期には枯れますが、越冬し、翌年の春には緑になります。

◆ オーバーシーディング前後の芝生管理のポイント

1. 播種
 - ①播種の適期は9月中旬から10月中旬。芝生は寒地型の芝生(冬芝)の「ペレニアル・ライグラス」。
 - ②1,000㎡の芝生にオーバーシーディングするのに必要な種の量は40kgを目安として下さい。
 - ②ただし、播種後5日～20日の間は傷つきやすいので、この頃に運動会などのイベントがある場合は、播種をイベント後に遅らせるか、もしくは早期に繰り上げる。
2. 灌水

種子の発芽には水分が必要となるので、晴天日は散水する。
(特に、9月中旬以前に早撒きする場合は発芽するまで毎日散水する)
3. 芝刈
 - ①播種直前には必ず芝刈り(通常よりやや低刈:高さ2cm～3cm)を行う。
 - ②播種後3週間までは傷つきやすいので、芝刈りは行わない。
 - ③播種後3週間目から芝刈り開始(1回目は高さ5cm)、その後7日～10日間隔で芝刈り(3cm～4cm)。
 - ④通常時の芝刈りの高さは原則4cm程度とし、2cm以下の低刈は避けること。
 - ⑤10月下旬から4月までは芝の成長に合わせて芝刈り回数を減らす。
4. 肥料
 - ①12月までには月1回の施肥を行う。
 - ②成長が停止する冬季(12月～2月)は原則として施肥しない。

(様式)

年 月 日

(財) 日本サッカー協会

ポット苗方式芝生化モデル事業係 宛

※切：2010年1月29日

団体名
印

(代表者名)

ポット苗方式芝生化モデル事業

申 請 書

ポット苗方式芝生化モデル事業 2010 年度実施要項に基づき、下記のとおり、ポット苗提供の申請をします。

◆ 芝生化しようとする場所

敷地の所有者	
施設名称	
種 別	1. 幼稚園・保育園 2. 小学校校庭 3. その他の学校等の校庭 4. グラウンド 5. 公園等の広場 6. その他、空き地等
敷地の住所	
敷地全体の面積	㎡ (学校等の場合は校庭・園庭等の面積を記入)
芝生化の面積	㎡
土 壌 の 種 類	1. 不明 2. 土 3. 砂 4. その他 ()
添 付 書 類 <small>右の6項目は必ず添付</small>	<input type="checkbox"/> 敷地全景の写真 <input type="checkbox"/> 芝生化しようとする部分の写真 <input type="checkbox"/> 敷地全体の平面図 <input type="checkbox"/> 周辺状況がわかる地図 (最寄駅等が分かるもの) <input type="checkbox"/> 芝刈機の写真 <input type="checkbox"/> スプリンクラーの写真

※ 添付書類は上記6つ全てを提出して下さい。芝刈機・スプリンクラー等未購入の場合は購入予定のものを添付して下さい。

◆ 利用 (予定) 状況

利 用 目 的	1. 遊び場 2. サッカー 3. 野球等 4. 校庭
利 用 人 数	人 (学校・幼稚園等の場合は児童の数を記入。その他は、一日の平均利用人数)
利 用 日 数	日/週
利 用 時 間	時間/日
利 用 年 齢 構 成	1. 幼稚園児 2. 小学生 3. 中学生以上 4. 高齢者 5. 全年代
利 用 期 間	1. 通年 2. 月～ 月

JFA
Green
Project

◆ 管理計画（分かる範囲でご記入下さい）

常駐管理者	1. 有り	2. なし		
芝刈り機	1. 手押し	2. 自走式	3. 乗用型（刈幅： cm）	
芝刈り	夏期：	回／週	冬期	回／週
散水方法	1. ホース	2. スプリンクラー	3. その他（ ）	
肥料	回／年			
オーバーシード	1. 実施する	2. 実施しない		
その他				

※ オーバーシードとは、一年中緑の芝生にするため秋に冬芝の種を蒔くことです（1㎡あたりの経費30円程度）。

◆ 苗植え希望日／苗の搬入場所

苗植え希望日	月	日～	月	日
配達希望日	月	日		
配達場所	〒			
苗受取担当者名				
担当者 TEL	TEL：	携帯：		
E - m a i l				

※ 配達希望日はご希望に添えない場合があります。

◆ 申請者連絡先

団体名			
担当者名			
住所	〒		
電話・FAX	TEL：	FAX：	
携帯番号			
E - m a i l			

都道府県サッカー協会 承認欄

協会名： _____	
代表者名	印